

平成28年度 (2016年度)

山口県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

山口県教育委員会

第一次試験日:平成27年7月18日(土)、19日(日)

第二次試験日:(小 学 校)平成27年8月22日(土)~26日(水)
(上記以外の校種等)平成27年8月22日(土)、23日(日)

志願書類受付期間:平成27年5月15日(金)~6月5日(金)当日消印有効
(ただし、インターネット出願については5月29日(金)まで受付)

1 目的

この選考試験は、平成28年度採用予定の山口県公立学校教員採用候補者を決定するために実施するものです。

2 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

選考区分	一般選考(身体障害者を対象とした選考)				
志願区分(校種等)	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭
教科(科目等)及び採用見込者数	201人程度	96人程度 国語 15人程度 社会 15人程度 数学 15人程度 理科 4人程度 音楽 2人程度 保健体育 14人程度 美術 2人程度 家庭 1人程度 外国語(英語) 13人程度	74人程度 国語 10人程度 地理歴史(世界史) 1人程度 (日本史) 1人程度 (地理) 1人程度 公民(倫理) 1人程度 (政治・経済) 1人程度 数学 10人程度 (物理) 1人程度 (化学) 3人程度 (生物) 5人程度 (地学) 1人程度 保健体育 1人程度 芸術(音楽) 1人程度 (美術) 1人程度 (書道) 1人程度 外国語(英語) 13人程度 家庭 2人程度 情報 1人程度 農業(農業畜産系) 1人程度 (農芸化学・食品系) 1人程度 工業(機械系) 4人程度 (電気系) 4人程度 (土木建築系) 1人程度 (化学工業系) 2人程度 商業 3人程度 水産(航海系) 1人程度 (機関系) 1人程度 (食品・栽培系) 1人程度	12人程度 小学部 4人程度 中学部 4人程度 高等部 4人程度	22人程度
		身体障害者を対象とした選考:全ての志願区分(校種等)の教科(科目等) (9人程度)			

選考区分	社会人特別選考	スポーツ・芸術特別選考	山口県教師力向上プログラム終了者特別選考	博士号取得者特別選考	看護科教諭特別選考
教科(科目等)	・小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)	・中学校の保健体育、音楽、美術 ・高等学校の保健体育、芸術(音楽、美術、書道)	・小学校	・高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)	・高等学校の看護
採用見込者数	〔小学校、中学校、高等学校とも上記採用見込者数に含む。〕	〔中学校、高等学校とも上記採用見込者数に含む。〕	〔上記採用見込者数に含む。〕	〔上記採用見込者数に含む。〕	〔看護 1人程度〕

- 試験は、上表のとおり行い、一つの選考区分、志願区分(校種等)に限り志願できます。
 - 中学校及び高等学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部にあつては、一つの教科(科目等)に限り志願できます。ただし、一般選考における中学校又は特別支援学校の小学部若しくは中学部を志願する者は、小学校を第二志願とすることができます。【注】
また、以下に示す特定の教科(科目等)の組合せについては、相互に第二志願として併願することができます。
- (1)一般選考における中学校音楽と特別支援学校中学部音楽
 - (2)一般選考における中学校美術と特別支援学校中学部美術
 - (3)一般選考における高等学校芸術(音楽)と特別支援学校高等部芸術(音楽)
 - (4)一般選考における高等学校芸術(美術)と特別支援学校高等部芸術(美術)
 - (5)スポーツ・芸術特別選考における中学校保健体育と高等学校保健体育
 - (6)スポーツ・芸術特別選考における中学校音楽と高等学校芸術(音楽)
 - (7)スポーツ・芸術特別選考における中学校美術と高等学校芸術(美術)
- 【注】(1)又は(2)を希望する者、第一次試験免除者A及び第一次試験免除者Bは、小学校を第二志願とすることはできません。
- 採用者数は、退職者の状況等により変更することがあります。

3 受験資格

各選考区分及び志願区分(校種等)について、次に示す(1)～(4)に掲げる各要件の全てを満たす者が受験できます。

(1) 所有免許状について

受験する校種・教科の教育職員普通免許状を所有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者

選考区分	志願区分(校種等)	所有免許状(取得見込みを含む)	
一般選考	① 小学校	小学校教諭の普通免許状	
	② 中学校	受験教科の中学校教諭の普通免許状(※1)(※2)	
	③ 高等学校	受験教科の高等学校教諭の普通免許状(※2)(※3)(※4)(※5)(※6)	
	④ 特別支援学校	小学部	小学校教諭の普通免許状
		中学部	受験教科の中学校教諭の普通免許状(※1)
高等部		受験教科の高等学校教諭の普通免許状(※5)	
	⑤ 養護教諭	養護教諭の普通免許状	
身体障害者を対象とした選考		一般選考のうち志願する区分(校種・教科)の普通免許状	
社会人特別選考		一般選考の①～③のうち志願する区分(校種・教科)の普通免許状(※7)	
スポーツ・芸術特別選考		一般選考の②又は③のうち志願する区分(校種・教科)の普通免許状	
山口県教師力向上プログラム修了者特別選考		小学校教諭の普通免許状	
博士号取得者特別選考		高等学校教諭の理科の普通免許状	
看護科教諭特別選考		高等学校教諭の看護の普通免許状(※7)	
※1 小学校を第二志願とする者は、各相当の普通免許状に加え、小学校教諭の普通免許状が必要です。 ※2 特別支援学校中学部音楽、特別支援学校中学部美術、特別支援学校高等部芸術(音楽)又は特別支援学校高等部芸術(美術)を併願する者は、盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の普通免許状が必要です。 ※3 高等学校教諭の社会の普通免許状を有する者は、地理歴史及び公民の普通免許状を有するものとみなします。 ※4 高等学校の芸術(書道)を志願する者は、書道の普通免許状に加え、高等学校教諭の国語の普通免許状が必要です。 なお、芸術(書道)で採用された場合は、国語を担当することがあります。 ※5 高等学校及び特別支援学校高等部の情報を志願する者は、情報の普通免許状に加え、高等学校教諭の数学、理科又は家庭のいずれかの普通免許状が必要です。 なお、情報で採用された場合は、これらの所有免許状の教科を担当することがあります。 ※6 高等学校の水産(航海系、機関係)を志願する者は、水産又は商船の普通免許状に加え、水産(航海系)を志願する者は3級海技士(航海)の海技免状、水産(機関係)を志願する者は、3級海技士(機関)の海技免状が必要です。 ただし、3級海技士の海技免状については、平成29年3月31日までに取得見込みの者も受験を認めます。 平成28年度採用候補者のうち、高等学校の水産(航海系、機関係)で平成28年3月31日までに3級海技士の海技免状を有しない者が、平成29年3月31日までに3級海技士の海技免状を取得した場合は、平成29年度採用候補者名簿に記載します。 ※7 社会人特別選考における高等学校の工業及び看護科教諭特別選考を志願する者については、各相当の普通免許状の取得又は取得見込みがない場合でも、以下に示す実務経験等により出願する教科(科目等)に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者も受験できます。 ① 社会人特別選考における高等学校の工業については、現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、5年以上の工業に関する実務経験を有するもの ② 看護科教諭特別選考における高等学校の看護については、看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として通算5年以上の実務経験を有する者 この場合、採用候補者名簿記載予定者の通知後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授受を受ける必要があります(これにかかる費用は、自己負担とします)。			

(2) 受験年齢について

昭和41年4月2日以降に生まれた者

(3) 欠格条項について

地方公務員法第16条及び学校教育法第9条欠格条項により、次のいずれにも該当しない者

- 1 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 3 免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 4 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 5 山口県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 6 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

(4)その他

各選考区分における要件に該当する者

身体障害者を対象とした選考	<input type="radio"/> 身体障害者手帳の交付を受けている者 <input type="radio"/> 介護者なしで職務の遂行が可能な者
社会人特別選考	<input type="radio"/> 次の①又は②のいずれかに該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの ① 現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められるもの ② 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアとして、通算2年以上の派遣経験を有する者で、その派遣経験により、グローバル化に対応するコミュニケーション力や異文化理解の能力等を身につけたもの ただし、志願書類を受け付けた後に書類審査を行います。その結果、特別選考の対象とならなかった者で一般選考の要件を満たすものについては、一般選考で受験することができます。
スポーツ・芸術特別選考	<input type="radio"/> 高等学校卒業以降、次の①～④のいずれかに該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの。ただし、成績及び実績は、平成22年4月1日以降のものに限る。 <input type="checkbox"/> スポーツ分野(※) ① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者又はその者を指導育成した実績を有する者 ② 日本選手権等の全国的な大会のトップレベルの選手が参加する競技の、団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者(ただし、団体戦の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有する者 (※) スポーツ分野の対象種目 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、スキー、硬式野球、トライアスロン <input type="checkbox"/> 芸術分野 ③ 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者 ④ 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者 ただし、志願書類を受け付けた後に書類審査を行います。その結果、特別選考の対象とならなかった者は、一般選考で受験することができます。
山口県教師力向上プログラム修了者特別選考	<input type="radio"/> 平成26年度山口県教師力向上プログラムを修了した者
博士号取得者特別選考	<input type="radio"/> 博士号を有し、高度の専門的な知識又は技能を高等学校理科教育の推進に生かす意欲のある者 ただし、志願書類を受け付けた後に書類審査を行います。その結果、特別選考の対象とならなかった者は、一般選考で受験することができます。

4 試験の一部免除

第一次試験免除者A	<input type="radio"/> 昨年度の第一次試験を受験し第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものを対象とした第一次試験免除 平成27年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の第一次試験を受験し、第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものについては、第一次試験を免除します(平成27年度と同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)の選考試験が実施され、かつ同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)を志願する場合に限り)。
第一次試験免除者B	<input type="radio"/> 他県における本採用教員のうち3年以上の勤務経験を有する者を対象とした第一次試験免除 現に(出願時点で)他の都道府県において国公立学校(国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在職している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)で、平成27年3月31日現在、継続して3年以上の勤務経験(受験する志願区分(校種等)の教科(科目は問わない。)と同一の勤務経験に限る。また、休職、育児休業等、勤務実態のない期間を除く。)を有するものが、同一志願区分(校種等)の教科(科目は問わない。)で出願した場合は、第一次試験を免除します。
教職専門免除者A	<input type="radio"/> 「第一次試験免除者B」以外の、他県における本採用教員を対象とした第一次試験の教職専門免除 現に(出願時点で)他の都道府県において国公立学校(国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在職している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)が、出願時の勤務と同一志願区分(校種等)で出願した場合は、教職専門を免除します。
教職専門免除者B	<input type="radio"/> 山口県内の国公立学校における臨時的任用教員等を対象とした第一次試験の教職専門免除 次に掲げる者のうち、過去3年間(平成24年4月1日から平成27年3月31日まで)において通算24月以上の在職期間を有するものは、教職専門を免除します。 ア 山口県内の公立学校(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)において山口県教育委員会が任用する臨時的任用教員(教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭)又は非常勤講師(非常勤養護教諭を含む) イ 下関市教育委員会が任用する、下関商業高等学校(全日制)の臨時的任用教員又は非常勤講師 ウ 山口大学教育学部附属学校(小学校、中学校及び特別支援学校)の、任期付教諭、非常勤講師又は非常勤教諭(任期付教諭は臨時的任用教員とみなし、非常勤教諭は非常勤講師とみなす) ただし、非常勤講師としての在職期間は、その在職期間に1/2を乗じ、小数点以下を切り捨てて算出します。臨時的任用教員と非常勤講師の両方の勤務経験を有するものの月数は、臨時的任用教員の在職月数と非常勤講師の換算在職月数の合計とします。 なお、在職月数の算定に当たっては、月に1日でも在職していれば1月とします。また、同一月に複数の任用がある場合は、いずれか一校のみを対象とします。

※ 社会人特別選考及び博士号取得者特別選考については、第一次試験の教職専門を実施しません。

※ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考については、第一次試験の教職専門及び集団面接(討議)を実施しません。

(「**6** 選考区分、志願区分別試験日程」参照)

5 出願の手続

(1) 提出書類について

志願者は○をつけた書類を整えて提出してください。

提出書類	特別選考							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
① 教員採用志願書	○	○	○	○	○	○	○	○
② 受験票(志願書から切り離さないこと)	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 志願登録票	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 自己推薦票	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 特別選考志願者申告票					○	○		○
⑥ 教職専門免除者B申請書 ※1		○ ※2						
⑦ 在職証明書	(○)		(○)		(○) ※3		(○)	(○)
⑧ 資格証明書等			○ ※4	○ ※5	○ ※6	○ ※7	○ ※8	

- ※1 教職専門免除者B申請書は、山口県教育庁教職員課のホームページからダウンロードしてください。
 ※2 学校名、任用期間及び任命権者(山口県教育委員会等)が明記された人事異動通知書等の写しを提出してください。また、任用期間の途中で辞職した場合は、辞職に関する人事異動通知書等の写しも提出してください。
 ※3 私立学校本採用教員は、所属校の校長発行の在職証明書(様式自由)を提出してください。
 なお、第一次試験免除者Bにあっては職歴証明書(本県所定の様式)を、教職専門免除者Aにあっては在職証明書(様式自由)を第二次試験の選考試験結果の通知後に提出してください。
 ※4 身体障害者手帳の写しを提出してください。
 ※5 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアの派遣経験を有する者は、その派遣経験を証明する書類を提出してください。
 ※6 その競技活動歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を記載したものを作成し、提出してください(大きさはA4判、様式自由)。また、受験資格となる競技成績(活動成績)又は指導実績の詳細が確認できる新聞記事や賞状等、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出してください(拡大、縮小等をして大きさをA4判にそろえてください)。
 ※7 平成26年度山口県教師力向上プログラム修了証書の写しを提出してください。
 ※8 博士号の学位を証明するものを提出してください(写しも可)。
 ○ 結婚等のため、提出書類に記載されている姓名と志願書に記載した姓名が異なる場合は、これを証明する戸籍抄本等の書類を提出してください。

(2) 提出方法について

、いずれの方法でも出願できます。

出願方法	注意事項
持参する場合	<ul style="list-style-type: none"> 受付窓口：山口県教育庁教職員課(山口市滝町1番1号 山口県庁14階 ☎083-933-4550) 受付期間：平成27年5月15日(金)～6月5日(金)(土日は除きます。) 受付時間：午前8時30分～午後5時15分 備考：封筒の表に「教員志願書類在中」と朱書きし、試験地、選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)を明記してください。
郵送する場合	<ul style="list-style-type: none"> 提出先：山口県教育庁教職員課(〒753-8501 山口市滝町1番1号) 提出期間：平成27年5月15日(金)～6月5日(金)(6月5日の消印のものまで有効です。6月1日以降に発送する場合には、速達にしてください。) 備考：簡易書留とし、封筒の表に「教員志願書類在中」と朱書きし、試験地、選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)を明記してください。 ※ 郵便以外の方法で送付された場合は、6月5日までに発送したことが証明できる書類の提出を求める場合があります。
インターネットによる場合	<ul style="list-style-type: none"> アクセス先：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/ 受付期間：平成27年5月15日(金)～5月29日(金) 受付時間：5月15日(金)午前9時～5月29日(金)午後5時まで(に到達したものに限り受け付けます。なお、受付期間中(受付初日及び最終日を除きます。))は原則として24時間いつでも受け付けています。 備考：画面上の申込方法及び注意事項をよく確認の上、申し込んでください。 (1) 提出書類の⑤特別選考志願者申告票⑥教職専門免除者B申請書⑦在職証明書及び⑧資格証明書等の提出を必要とする場合については、インターネットによる出願ができません。また、ご使用の機種や環境によっては、一部対応できないこともあります。これらの場合は持参又は郵送により出願してください。

(3) 出願上の留意点について

- 志願書類が不備であるものは、受理しません。
- 志願書類受付後の試験地、選考区分、志願区分(校種等)及び教科(科目等)の変更は、認めません。
- 実技試験等において、特別の配慮を必要とする場合は、志願書類提出時に本人が山口県教育庁教職員課に連絡してください。
- 連絡先を変更する場合又は就職その他の事情により志願を取り消す場合には、必ずその旨を山口県教育庁教職員課に連絡してください。
- 第一次試験免除者A、第一次試験免除者B、教職専門免除者A及び教職専門免除者Bには、受験票の発送時に該当する旨をお知らせします。
- 受験票は7月上旬に送付します。
- 身体に障害がある志願者については、障害の状態等に応じて、実技試験の免除、車椅子の使用や点字及び拡大文字による受験等の配慮をしますので、志願書に記載するとともに出願時に申し出てください。

6 選考区分、志願区分別試験日程

※ 第一次試験及び第二次試験ともに、時間については受験者数等により変動する場合があります。

【第一次試験】

〔7月18日(土)〕

○一般選考、身体障害者を対象とした選考、社会人特別選考、
山口県教師力向上プログラム修了者特別選考、博士号取得者特別選考

		9:00	10:00	10:20	11:30	11:50	12:40	13:00	13:20	13:50	14:10	14:30	15:40	16:00	16:40	17:20
小学校及び特別支援学校小学部	教職専門免除者A 教職専門免除者B 社会人特別選考 如願追加の科目を記載	受付・入室	諸連絡		昼食・休憩	休憩										
第一志願 中学校及び特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科)							受付・入室 11:50~12:40	諸連絡			休憩					
	第二志願なし									13:20~14:10 受付・入室						
第一志願 中学校及び特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科)		受付・入室	諸連絡		昼食・休憩	諸連絡					休憩	諸連絡				
	第二志願小学校															
第一志願 中学校及び特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語))							受付・入室 11:50~12:40	諸連絡			休憩				休憩	
	第二志願なし									13:20~14:10 受付・入室						
第一志願 中学校及び特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語))		受付・入室	諸連絡		昼食・休憩	諸連絡					休憩	諸連絡			休憩	
	第二志願小学校															
高等学校及び特別支援学校高等部 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、 情報、農業、工業、商業、水産)							受付・入室 11:50~12:40	諸連絡			休憩					
	教職専門免除者A 教職専門免除者B 社会人特別選考 博士号取得者特別選考									13:20~14:10 受付・入室						
高等学校及び特別支援学校高等部 (保健体育、芸術(音楽、美術、書道)、 外国語(英語)、家庭)							受付・入室 11:50~12:40	諸連絡			休憩				休憩	
	教職専門免除者A 教職専門免除者B 社会人特別選考									13:20~14:10 受付・入室						
養護教諭		受付・入室	諸連絡		昼食・休憩	休憩										
	教職専門免除者A 教職専門免除者B															

※ 中学校、特別支援学校中学部を志願する者のうち、小学校を第二志願とするものについては、小学校教科専門(筆記試験)についても実施します。

○スポーツ・芸術特別選考、看護科教諭特別選考

		9:00	10:00	10:20	11:30	11:50	12:40	13:00	13:20	13:50	14:10	14:30	15:40	16:00	16:40	17:20
スポーツ・芸術特別選考 看護科教諭特別選考																

〈7月19日(日)〉

8:50 9:20 9:40

17:30

一般選考、身体障害者及び博士号取得者特別選考 社会人特別選考	小学校及び特別支援学校小学部	移動 休憩	
	中学校及び特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科)		
	中学校及び特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語))		
	高等学校及び特別支援学校高等部 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報、農業、工業、商業、水産)		
	高等学校及び特別支援学校高等部 (保健体育、芸術(音楽、美術、書道)、外国語(英語)、家庭)		
養護教諭			
スポーツ・芸術特別選考 看護科教諭特別選考			

- ※1 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考の志願者は、集団面接(討議)を実施しません。
- ※2 特別支援教育専門(筆記試験)は、特別支援学校の志願者を対象に実施します。なお、特別支援学校を第二志願とする者についても実施します。

[第二次試験]

〈8月22日(土)〉

7:55 8:45 9:05 9:55 10:10 11:00 11:20

17:20

全ての選考区分・志願区分	受付 入室	諸連絡	休憩	
--------------	----------	-----	----	--

〈8月23日(日)〉

8:30 9:20 9:30 12:50 13:40 13:50

17:10

小学校及び特別支援学校小学部 (小学校を第二志願とする者を含む)	受付		受付	
-------------------------------------	----	--	----	--

- ※1 午前又は午後の指定された半日で実施します。
- ※2 小学校以外を第一志願とする者の個人面接日については、8月23日(日)を指定します。(小学校を第二志願とする者は、音楽実技、体育実技と同日に実施します。)
- 小学校を第一志願とする者の個人面接日については、第一次試験の選考試験結果の通知でお知らせします。この場合、8月23日(日)を指定し、音楽実技及び体育実技と同日に実施することがあります。

7 選考区分、志願区分及び教科等別試験会場

[第一次試験]

選考区分・志願区分及び教科等		試験会場
一般選考	小学校、特別支援学校小学部	山口県立西京高等学校又は國學院大學
	中学校、特別支援学校中学部 国語、社会、数学、理科	山口県立山口中央高等学校又は國學院大學
	音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語)	山口県立山口高等学校
	高等学校、特別支援学校高等部 国語、数学、理科	山口県立山口中央高等学校又は國學院大學
	地理歴史、公民、情報、農業、工業、商業、水産 保健体育、芸術(音楽、美術、書道)、外国語(英語)、家庭	山口県立山口高等学校又は國學院大學 山口県立山口高等学校
養護教諭	山口県立西京高等学校	
スポーツ・芸術特別選考、看護科教諭特別選考		山口県立山口中央高等学校

- ※ 社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考については、志願する志願区分(校種等)の教科(科目等)が実施される試験会場で試験を実施します。
- ※ 身体障害者を対象とした選考については、原則として志願区分(校種等)の教科(科目等)が実施される山口県内の3会場で試験を実施します。

[第二次試験]

対象者	試験会場
第一次試験合格者、 第一次試験免除者A及び第一次試験免除者B	山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、 山口県立西京高等学校又は山口県立山口農業高等学校

- ※ 第二次試験の試験会場は、第一次試験の選考試験結果の通知でお知らせします。
- ※ 中学校及び特別支援学校中学部を志願する者のうち、小学校を第二志願とするものについては、第二次試験の1日目に行う適性検査、小論文及び集団面接(模擬授業・討議)は第一志願の試験会場で行い、2日目に行う個人面接及び小学校実技は小学校の試験会場で行います。

8 選考に当たっての考慮事項

採用候補者の選考に当たっては、次の5点を考慮します。

主免許状以外の免許状取得者	<p>複数の学校種又は複数の教科の普通免許状を所有していること(平成28年3月31日までの取得見込みを含みます。)</p> <p>次の①～④のいずれかに該当する場合は、特に考慮します。</p> <p>① 小学校の受験者で、中学校又は高等学校の数学、理科又は外国語(英語)の普通免許状を所有している場合</p> <p>② 中学校の音楽、美術、技術及び家庭の受験者で、受験する教科以外の中学校の普通免許状を所有している場合</p> <p>③ 高等学校の音楽及び美術の受験者で、受験する教科以外の高等学校の普通免許状を所有している場合</p> <p>④ 高等学校の家庭の受験者で、高等学校の情報又は福祉の普通免許状を所有している場合</p>
司書教諭資格取得者	<p>学校図書館司書教諭の講習の修了証書を所有していること(平成28年3月31日までに講習の修了証書を取得見込み又は学校図書館司書教諭講習規定に定める10単位を修得できる見込みを含みます。なお、見込みの者が採用候補者名簿登載予定者となった場合は、平成28年3月31日までに「講習の修了証書の写し」又は「単位修得証明書と修了証書交付申請書の写し」の提出が必要です。)</p>
英語資格取得者	<p>次の①～③のいずれかの英語の資格を所有していること</p> <p>ただし、中学校及び高等学校の外国語(英語)の受験者は、①のみとします。</p> <p>なお、中学校の外国語(英語)の受験者で小学校を第二志願とするものは、小学校の選考に当たって①～③を考慮します。</p>
①英検1級程度資格取得者	<p>実用英語技能検定(財・日本英語検定協会)1級合格、TOEFL(国際教育交換協議会)iBT97点以上(PBTでは590点以上又はCBTでは243点以上)取得、又はTOEIC(財・国際ビジネスコミュニケーション協会)860点以上を取得していること</p>
②英検準1級程度資格取得者	<p>実用英語技能検定(財・日本英語検定協会)準1級合格、TOEFL(国際教育交換協議会)iBT80点以上(PBTでは550点以上又はCBTでは213点以上)取得、又はTOEIC(財・国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上を取得していること</p>
③英検2級程度資格取得者	<p>実用英語技能検定(財・日本英語検定協会)2級合格、TOEFL(国際教育交換協議会)iBT61点以上(PBTでは500点以上又はCBTでは173点以上)取得、又はTOEIC(財・国際ビジネスコミュニケーション協会)650点以上を取得していること</p>
スポーツ実績資格取得者	<p>高等学校卒業以降、スポーツの分野において、次の①又は②のいずれかに該当する者</p> <p>① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場した者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>② 日本選手権等の全国的な大会のトップレベルの選手が参加する競技の、団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞した者(ただし、団体戦の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>なお、資格証明書類の提出後に書類審査を行います。その結果、考慮の対象とならない場合もあります。</p>
芸術実績資格取得者	<p>高等学校卒業以降、芸術の分野において、次の①又は②のいずれかに該当する者</p> <p>① 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>② 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>なお、資格証明書類の提出後に書類審査を行います。その結果、考慮の対象とならない場合もあります。</p>

9 各試験項目における試験内容、評価の視点及び評価の方法並びに選考方法

【第一次試験】

(試験項目、試験内容及び評価の視点)

選考区分	試験項目	試験内容	評価の視点	
修了者特別選考、身体障害者を対象とした選考、山口県教師力向上プログラム	教職専門	教育法規、教育心理、教育原理、学習指導、生徒指導、人権教育、特別支援教育、一般教養	教員として必要な教職専門分野の知識及び理解	
	特別支援教育専門	特別支援教育	特別支援学校の教員として必要な専門的知識及び理解	
	教科専門	小学校、特別支援学校小学部	国語、社会、算数、理科、生活、図画工作、家庭、外国語活動	試験内容の指導に必要な専門的知識、理解及び技能
		中学校、特別支援学校中学部	志願教科と同一教科	
		高等学校、特別支援学校高等部	志願教科(科目等)と同一教科(科目等)	
養護教諭	衛生学、解剖学・生理学、栄養学、精神保健、学校保健、養護教諭の職務			
スポーツ・芸術特別選考	実技	【別表1】	【別表1】	
	集団面接	集団面接(討議)	表現力、判断力、社会性、積極性、協調性等	
	個人面接		口述試験 ・教職専門(教育法規、生徒指導等) ・志願教科(科目等)と同一教科(科目等)等	・教員として必要な教職専門分野の知識及び理解 ・試験内容の指導に必要な専門的知識、理解及び技能(経験や専門性と教育への関わりについても含む。) ・教員としての適性や教育への意欲等
集団面接		集団面接(討議)	表現力、判断力、社会性、積極性、協調性等	

【別表1】

学 区 学 校 種 別	実 施 名	実 施 内 容	取 組 の 視 点
中学校、高等学校、特別支援学校中学部及び特別支援学校高等部	音 楽	(1) 次のいずれかによる任意の楽曲の演奏 (独奏曲に限る) ○ピアノ ○声楽 ○その他の楽器(電子楽器を除く。) (2) 次の3曲の中から、1曲をピアノ伴奏をつけての歌唱(曲は当日指定) ○「赤とんぼ」作詞：三木露風 作曲：山田耕筰 ○「早春賦」作詞：吉丸一昌 作曲：中田 章 ○「帰れソレントへ」作詞：G.B.デ・クルティス 作曲：E.デ・クルティス ※原語・訳詞いずれも可 (3) 次の合唱教材を歌いながらの指揮(演奏のポイントの簡単な説明を含む) ○「夏の思い出」作詞：江間章子 作曲：中田喜直	(1) 表現力及び技術力 (2) 歌唱力及び伴奏力 (3) 指導力及び技術力
	美 術	「生徒に示す参考作品」の制作 (1) 表現分野は「平面又は立体」 (題材は当日指定) (2) 主題設定の理由及び指導上の留意点の説明	(1) ・発想や構想の能力 ・創造的な技能 ・安全への配慮 (2) ・題材に対する知識及び理解 ・指導上の留意点の理解
	書 道	(1) 漢字の書の臨書(半紙・画仙紙半切) (2) 漢字の書の創作(色紙) (3) 仮名の書の創作(半紙) (4) 漢字仮名交じりの書の創作(画仙紙半切1/2)	(1) 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法 (2) 表現型式に応じた創造的な表現の技法 (3) 仮名の書の基本的な用筆・運筆の技法と表現の工夫 (4) 書表現の構想と工夫、創造的な表現の技能
	体 育	(1) 器械運動 マット運動(倒立前転を含む4種類の連続技) (2) 陸上競技 ハードル走(ハードリング) (3) 球技 バレーボール(ボール操作) (4) 武道 剣道(体さばき、竹刀操作) (5) ダンス 現代的なリズムのダンス(曲は当日指定)	(1)～(5) 共通 ・領域に対する知識及び技能 ・運動に対する心構えや姿勢
	技 術	「技術とものづくり」についての実技 題材：簡単な日用品の製作(テーマは当日指定) (1) 製作品の設計 (2) 製作品の部品加工及び組立て	(1) ・材料の有効活用 ・製作品の機能性及びアイデア性 (2) ・加工の技術・作業の正確さ ・安全への配慮 ・製作品の正確さ及び完成度 ・実技に対する心構えや姿勢
	家 庭	家庭に関する実技 (1) 被服製作(題材は当日指定) (2) 調理実習(題材は当日指定)	(1)、(2) 共通 ・題材についての理解及び知識・技術 ・製作品の完成度 ・実技に対する心構えや姿勢
	外 国 語 (英 語)	(1) リスニング ・対話文、説明文を聞いて内容を問うリスニングテスト (2) スピーキング ・グループディスカッションによるスピーキングテスト(テーマは当日指定)	(1) ・概要や要点を聞き取る力 ・聞き取った情報を基に書く力 (2) ・積極性 ・内容 ・表現力及び発音
	養 護 教 諭	救急法等養護に関する実技(テーマは当日指定)	・疾患等の知識・理解を基にした観察力、判断力及び対応力 ・保健指導等の実践力

〈評価方法〉

試験項目		評価方法
教 職 専 門	特別支援教育専門	各試験における得点で評価
教 科 専 門		
実 技		
集 団 面 接	個人面接	各評価の視点について、5段階で評価
個 人 面 接		

〈選考方法〉

◎各選考区分における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出資料等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施

〔第二次試験〕

〈試験項目、試験内容及び評価の視点〉

選考区分	試験項目	試験内容	評価の視点
全 て の 区 分	個人面接等	個人面接及び適性検査	教育的愛情、教育に対する情熱・意欲、教育観、人権意識、倫理観、表現力、創造力、指導力、社会性、積極性、協調性等
	集団面接	模擬授業及び討議	
	小論文	小論文	
一般選考 （普通科） 及び 特別選考 （特別支援科）	実 技	【別表2】	【別表2】

〔別表2〕

試験区分	実技名	実技内容	評価の視点
小学校及び特別支援学校小学部 （小学校を第二志願とする者を含む）	体 育	(1) 陸上運動・ハードル走 (2) 器械運動 マット運動（後転を含む3種目の組合せ） (3) ボール運動（ドッジボールを使用） ①ドリブル ②キャッチボール (4) 体づくり運動（短なわを使用） 二重跳びを含む3種類以上の跳び方	(1) ～ (4) 共通 ・領域に対する知識及び技能 ・運動に対する心構えや姿勢
	音 楽	(1) 次の小学校の共通教材3曲の中から、当日自ら1曲を選択し、簡単なピアノ伴奏をつけての歌唱 ○「春の小川」作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一 ○「まきばの朝」作曲：船橋栄吉 ○「ふるさと」作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一 (2) 次のいずれかによる任意の楽曲の演奏（独奏曲に限る） ○電子ピアノ ○声楽 ○その他の楽器（電子楽器を除く。）	(1) 歌唱力及び伴奏力 (2) 表現力及び技術力

〈評価方法〉

試験項目	評価方法
個人面接等	各評価の視点について、5段階で評価
集団面接	
小論文	
実 技	

〈選考方法〉

◎第二次試験における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出資料等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施

10 試験当日の提出書類及び携行品

【第一次試験】

① 整理票	申込みの時には、志願書から切り離し、大切に保管しておいてください。 送付された受験票に記載してある受験番号を所定の場所に記入し、受験票と同じ写真を貼付して、第一次試験の初日に提出してください。
② 受験資格となる教育職員免許状の写し又は取得見込み証明書	受験資格となる教育職員免許状の写し又は教育職員免許状取得見込み証明書を提出してください。聴講生又は科目等履修生として単位修得中の者にあつては、受講証明書及び卒業した大学の学力に関する証明書(単位修得証明書)を提出してください。 高等学校の芸術(書道)を志願する者は、書道の教育職員免許状の写しに加え、高等学校の国語の教育職員免許状の写し又は教育職員免許状取得見込み証明書を提出してください。 高等学校及び特別支援学校高等部の情報を志願する者は、情報の教育職員免許状の写しに加え、情報以外の教育職員免許状(数学、理科又は家庭の教育職員免許状に限る。)の写し又は教育職員免許状取得見込み証明書を提出してください。
③ 所有している教育職員免許状の写し又は取得見込み証明書	㉓ 選考に当たつての考慮事項に係る教育職員免許状の写し又は取得見込み証明書を提出してください(主免許状以外の免許状取得者のみ)。 ただし、同一校種・教科の場合は、上位のもののみ提出してください。
④ 成績証明書	最終卒業(又は卒業見込み)学校の成績証明書(開封無効)を提出してください。 ただし、大学院等の修了者及び在学者並びに大学を卒業後通信教育を受講した者及び受講中の者にあつては卒業した大学の成績証明書、教員養成機関の卒業生及び卒業見込みの者にあつては、当該教員養成機関の成績証明書を提出してください。 また、短期大学等を卒業後、4年制大学へ編入学した場合は、短期大学等及び4年制大学の双方の成績証明書を提出してください。
⑤ 資格証明書等	○ ㉓ 選考に当たつての考慮事項に係る資格証明書等を提出してください。 ・ 司書教諭資格取得者のうち講習の修了証書を所有している者は、修了証書の写し ・ 英語資格取得者については実施団体の発行する合格証明書(開封無効)又は成績を証明できる書類の写し ・ スポーツ実績資格取得者及び芸術実績資格取得者については、その競技歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を記載したものを作成し、提出してください(大きさはA4判、様式自由)。また、考慮の対象となる競技成績(活動成績)又は指導実績の詳細が確認できる賞状や新聞記事、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出してください(拡大、縮小等をして大きさをA4判にそろえてください)。 ○ ㉔ 受験資格(※6)(※7)に係る資格証明書等を提出してください。 ・ 水産(航海系、機関系)の志願者は、3級海技士(航海)又は3級海技士(機関)の海技免状の写し。ただし、取得見込みの者にあつては自己申告書等(様式自由)を提出してください。 ・ 看護科教諭特別選考志願者は、看護師免許証の写し ○ 結婚等のため、免許状や成績証明書等に記載されている姓名と志願書に記載した姓名が異なる場合は、これを証明する戸籍抄本等の書類を提出してください。

携行品	注意事項
⑥ 受験票	返送された受験票に、整理票と同じ写真を貼ったものを受付で提出し、チェックを受けてください。
⑦ 筆記用具	HBの鉛筆、黒のボールペン、定規、三角定規、コンパス
⑧ 上履	全ての会場が必要です。
⑨ 筆記試験(工業、商業、水産)の携行品	○ 工業：関数電卓(※1) ○ 商業：そろばん又は電卓(※2) ○ 水産(航海系)：アバイダ、製図用三角定規、関数電卓(※1) ○ 水産(機関系)：関数電卓(※1) ※1 音及び記録紙の出ないもの。プログラム機能、周期表に関する機能のないもの。 ※2 音及び記録紙の出ないもの。プログラム機能のないもの。ただし、関数機能は使用可。
⑩ 実技受験者の携行品	[中学校、高等学校、特別支援学校中学部、特別支援学校高等部] ○ 音楽：音楽実技に必要な楽器(ピアノ以外)及び楽譜 ○ 美術：絵画鉛筆、カッターナイフ ○ 書道：書道実技のできる服装、書道用具一式 ○ 体育：体育実技のできる服装及びシューズ(体育館用) ○ 技術：実習のできる服装及びシューズ ○ 家庭：調理に関する実技のできる服装 [養護教諭] ○ 養護に関する実技のできる服装及びシューズ

【第二次試験】

第一次試験合格者	10 試験当日の提出書類及び携行品に示す⑥、⑦(定規、三角定規、コンパスを除きます。)、⑧ ※ 適性検査については、シャープペンシルは使用できません。
第一次試験免除者A及び第一次試験免除者B	10 試験当日の提出書類及び携行品に示す①、②、③、④、⑤、⑥、⑦(定規、三角定規、コンパスを除きます。)、⑧ ※ 適性検査については、シャープペンシルは使用できません。
小学校、特別支援学校小学部の実技の携行品	○ 体育：体育実技のできる服装及びシューズ(体育館用)、短なわ(なわ跳び用) ○ 音楽：音楽実技に必要な楽器(電子ピアノ以外)及び楽譜

11 試験問題及び解答例の公開

第一次試験の試験問題及び解答例については7月28日(火)、第二次試験の試験問題については9月1日(火)の両日とも午前9時から、情報公開センター(山口県庁)及び地方県民相談室(岩国市、柳井市、周南市、山口市、宇部市、下関市、萩市の各総合庁舎)の県内8か所で公開します。

12 選考試験結果の発表及び採用候補者名簿登載予定者の発表等

[第一次試験]

選考試験結果の発表	日時：平成27年8月11日(火)午前9時 内容：第一次試験合格者の受験番号を掲載します。 場所：山口県庁インフォメーションプラザ 山口県教育委員会(教職員課)のホームページ (http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/)
選考試験結果の通知	期日：平成27年8月11日(火)発送 内容：第一次試験の選考結果(合否)を受験者全員に通知します。 なお、不合格者については、以下の①、②の内容を加えて通知します。 ①5段階に区分した総合評価ランク (不合格者全体をおおよそ5等分して成績上位からA、B、C、D、Eとします。) ②5段階に区分した試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、c、d、eとします。)

[第二次試験]

選考試験結果の発表	日時：平成27年10月7日(水)午前9時 内容：採用候補者名簿登載予定者の受験番号を掲載します。 場所：山口県庁インフォメーションプラザ 山口県教育委員会(教職員課)のホームページ (http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/)
選考試験結果の通知	期日：平成27年10月7日(水)発送 内容：合格(採用候補者名簿登載予定)又は不合格(不登載)を受験者全員に通知します。 なお、不合格者については、以下の①、②、③の内容を加えて通知します。 ①4段階に区分した総合評価ランク (不合格者全体をおおよそ4等分して成績上位からA(※)、B(※)、C、Dとします。) ②3段階に区分した第二次試験の試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、cとします。) ③5段階に区分した第一次試験の試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、c、d、eとします。) ※ 平成28年度採用候補者選考試験の第一次試験を受験し、第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものについては、平成29年度採用候補者選考試験において、同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)の選考試験が実施され、かつ同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)で出願した場合に限り、第一次試験を免除します(平成29年度「第一次試験免除者A」)。

[名簿登載予定者に対する留意事項]

- (全ての採用候補者名簿登載予定者は、次の書類等を選考試験結果と同時に通知する期日までに提出してください。)
- 健康診断書及び胸部X線フィルム
 - 地方公務員法第16条に規定する欠格条項の該当の有無について確認を行うために必要な書類
- (採用候補者名簿登載予定者のうち、次に該当する者は、証明書等を選考試験結果と同時に通知する期日までに提出してください。)
- 第一次試験免除者Bにあつては職歴証明書(本県所定の様式)、教職専門免除者Aにあつては在職証明書(様式自由)なお、志願書の記載と異なる事実が判明した場合は、採用候補者名簿に登載しません。
- (その他、採用候補者名簿登載予定者に対する留意事項)
- 受験資格に示す所有免許状等を取得する見込みの者が、平成28年3月31日までに免許状等を取得できない場合は、採用候補者名簿に登載しません。
 - 選考に当たつての考慮事項に示す所有免許状等を取得する見込みの者が、平成28年3月31日までに免許状等を取得できない場合は、採用候補者名簿に登載しないことがあります。
 - 平成28年度採用候補者のうち、高等学校の水産(航海系、機関系)で平成28年3月31日までに3級海技士の海技免状を有しない者が、平成29年3月31日までに3級海技士の海技免状を取得した場合は、平成29年度採用候補者名簿に登載します。
 - 平成28年度採用候補者のうち、大学院進学を理由として採用の延期を申し出た者が、次のいずれにも該当した場合は、平成30年度採用候補者名簿に登載します。
 - ・平成30年3月31日までに大学院修士課程を修了できること。
 - ・平成30年3月31日までに合格した志願区分の校種、教科の専修免許状が取得できること。
 ※教職大学院の専門職学位課程についても、大学院修士課程と同様の取扱いとします。
 - 平成28年度採用候補者のうち、大学院在学中であり、引き続き修学することを理由として採用の延期を申し出た者が、次のいずれにも該当した場合は、平成29年度採用候補者名簿に登載します。
 - ・平成29年3月31日までに大学院修士課程を修了できること。
 - ・平成29年3月31日までに合格した志願区分の校種、教科の専修免許状が取得できること。
 ※教職大学院の専門職学位課程についても、大学院修士課程と同様の取扱いとします。
 - 採用については、採用候補者名簿登載予定者を採用候補者名簿に登載し、採用候補者名簿に登載された者の中から必要に応じて決定します。
 - 日本の国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とします。

13 志願区分(校種等)別採用候補者名簿登載者の配属校

志願区分		配属校	備考
小	学 校	公立小学校、県立特別支援学校小学部	
中	学 校	公立中学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校中学部	
高	等 学 校	公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校高等部	
特別支援学校	小学部	県立特別支援学校小学部	特別支援学校の志願区分における採用者については小学校、中学校、高等学校との人事交流は行いません。
	中学部	県立特別支援学校中学部	
	高等部	県立特別支援学校高等部	
養 護 教 諭	公立小学校、公立中学校、公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校		

※ 採用された者が複数の免許状を所有している場合は、志願した教科以外の教科を担当することがあります。

14 会場及び所在地等

会場	所在地	電話番号	
山口会場	山口県立山口高等学校	山口市糸米1丁目9番1号	083-922-8511
	山口県立山口中央高等学校	山口市宮島町6番1号	083-922-0032
	山口県立西京高等学校	山口市黒川2580番地の1	083-923-8508
	山口県立山口農業高等学校	山口市小郡上郷980-1	083-972-0950
東京会場(横浜市)	國學院大學たまプラーザキャンパス	神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1	083-933-4550(教職員課)

◆ 山口会場

山口高校
●バス：商工会館前下車 徒歩 5分
●JR(山口線)：山口駅下車 徒歩30分

山口中央高校
●バス：宮島町下車 徒歩 3分
●JR(山口線)：山口駅下車 徒歩10分

西京高校
●バス：西京高校前下車 徒歩 5分
●JR(山口線)：矢原駅下車 徒歩30分

山口農業高校
●バス：仁保津駅前下車 徒歩15分
●JR(山口線)：仁保津駅下車 徒歩15分

◆ 東京会場

國學院大學たまプラーザキャンパス
●東急田園都市線：たまプラーザ駅で下車(渋谷駅から約25分)
たまプラーザ駅から徒歩 5分

【各会場における注意事項】

(1) 受験者のための宿泊等の斡旋は行いません。
(2) 各試験会場への自家用車の乗り入れは厳禁です。また、周辺は駐車禁止区域であり、会場近くの商業施設への駐車も営業の妨げになりますので、バス、JR、私鉄等を御利用ください。

試験に関するお問い合わせ

山口県教育庁教職員課

TEL 083-933-4550

〒753-8501 山口市滝町1番1号

HPアドレス <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/>